基本方針1　持続的かつ競争力のある観光地域づくり

⇨ 予定
➡ 実績

施策1　魅力的な観光商品・サービス開発の推進

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
周遊・体験型商品・サービスの創出	那須塩原市観光局がプロデュース力を発揮しながら、テーマ（自然体験、冒険、農、食文化、文化遺産、健康、アートなど）に沿った地域観光資源と食、宿泊などを組み合わせた周遊・滞在を促す商品造成を地域事業者と協働し開発する。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨		○	○		●	
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○地域観光協会等が実施する取組（こいのぼり設置、竹灯篭等）をサポートし、地域資源を活用した観光誘客につなげた。 【事業者：JR東日本】 ○旅のテーマに合わせた各種パッケージツアーを実施し、那須塩原市への来訪促進に寄与した。 【事業者：ハンターマウンテン塩原】 ○雪たびキッズ 塩原温泉に宿泊する小学生に、温泉街で使えるクーポンを発行して周遊・滞在につなげた。													
日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」の推進	明治貴族たちの開拓者精神や那須連山を背景に広がる豊饒の大地の魅力を体感できる体験プログラムや華族農場の別荘を巡るコースの設定、土産物品や食の展開など地域事業者や庁内部署と連携しながら開発する。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○	○		●	
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課・生涯学習課】 ○日本遺産那須野が原ポタリング推進事業 自然、食、温泉などの既存観光と日本遺産を結び付けた自転車によるモニターツアーや、その分析結果を基にした魅力的な周遊コースの開発などを行った。また、サイクルマップを作成し、周知に努めた。 ○郷土愛とシビックプライドを育む人材育成事業 日本遺産ガイド養成講座の実践編として、実際にガイドを行うためのスキル向上につなげることを目的とし、日本遺産の構成文化財において、受講者が交代でガイドを実践した。 ○那須野が原開拓日本遺産ストーリーブック～図鑑編～制作事業 次世代を担う子どもたちの地域の歴史への認識を深め、郷土愛を醸成することを目的として、日本遺産の認定ストーリーを伝えるストーリーブック～図鑑編～の電子データを制作し、市ホームページ等で公開した。 【市：商工観光課】【観光局】 ○各種イベントや観光PRキャラバンなどで日本遺産について広くPR活動を行った。													

新しい生活様式/価値観に対応した商品・サービスの創出	生活様式（リモートワーク、休暇取得の分散化など）や価値観の変化に対応した新たな旅の商品・サービス（ワーケーション、VRの活用、電子商取引と連動したオンライン観光など）の開発及び提供を推進する。								○	○	○			●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○板室温泉における現代湯治ワーケーション誘致事業 　観光庁よりマッチングされた企業に板室温泉でのワーケーション体験モニターツアーを実施。湯治場でのワーケーションの魅力を体感するとともに、交流会やアクティビティ体験などを行い、関係人口の増加にもつなげることができた。 【事業者：JR東日本】 ○那須塩原駅前広場でのイベントを行う際に、電子チケットで精算してもらう「エキトマチケット」を導入して参加者の利便性が向上した。 ○駅にワーキングスペースの設置や、新幹線の8号車をオフィス車両とするなど、リモートワークができる環境整備を行った。 【事業者：ハンターマウンテン塩原】 ○スマホで事前に決済を済ませてリフト券が取れる無人券売機を随時導入している。													
那須塩原ブランド認定品の普及と拡大	飲食店を中心に地域食材活用の推奨、土産品の開発販売を推進する。								○	○	○	○		
➢令和3年度の取組実績	【市：農務畜産課】 ○那須塩原ブランド冊子のリニューアルを行い、那須塩原市のブランド力向上や地域の魅力発信力の強化を図り、本市の農畜産物や加工品の更なる販路拡大を目指す。 ○市とパートナーシップ連携協定を締結している株式会社八芳園とともに、那須塩原ブランド認定品を含めた市内産食材の魅力発信や販路拡大に資する取組を実施した。 【市：商工観光課】 ○ONSEN・ガストロノミーウォーキングin那須塩原2021・塩原 　地元の農畜産物を使ったメニューを参加者に提供して、市内産食材のPRを行った。 【市：商工観光課】【観光局】 ○各種イベントや観光PRキャラバンにおいて広報活動を行った。 【事業者：JR東日本】 ○新幹線に市内の農産品（牛乳、イチゴなど）を載せて首都圏で販売する貨客混載を実施した。													

施策2　競争力の強化

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
マーケティング調査の実施	観光客の実態把握やニーズ把握を継続的に実施し、データに基づいたマーケティング戦略を推進する。									○				
➢令和3年度の取組実績	【観光局】 ○OTAを活用した販促キャンペーンの顧客動向をモニターし、マーケティング分析を行った。また、Yahoo　Ds　INSIGHTを活用し、動態調査を行った。													
観光サービス品質の向上	定期的な満足度調査の実施とフィードバックを行い、不満の解消に取り組む。									○	○			●
➢令和3年度の取組実績	【観光局】【事業者】 ○地域の食材を活用した各種フェアを継続して開催し、食の品質向上に努めた。 【観光局】【事業者：ハンターマウンテン塩原】 ○観光客の動態動向調査を継続して実施し、結果をフィードバックすることで観光サービスの品質向上に努めた。調査場所は①那須ガーデンアウトレット②道の駅明治の森黒磯③道の駅湯の香しおばら④那須千本松牧場⑤塩原もの語り館及び湯っ歩の里⑥ハンターマウンテン塩原の6箇所で実施。													

基本方針2　観光客の来訪促進

⇨ 予定
➡ 実績

施策1　国内観光客を対象とした施策の推進

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
「責任ある観光（レスポンシブルツーリズム：観光客に一定の責任をもってもらい、観光地域と観光客の来訪との間で持続的で良好な関係をつくること）」推進のための制度の在り方の検討	SDGsツーリズムの実現のためには、受け入れ側だけでなく観光客にも責任ある観光を実践してもらい、持続可能な観光事業を推進することが必要である。本市にとって「来てもらいたい」理想的な観光客像を明確にした上で持続可能な関係構築を促進させる制度を検討する。	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○	○		●	
「責任ある観光（レスポンシブルツーリズム）」の推進	「責任ある観光」推進のための制度の試行導入から本格導入を行い、推進する。	➡												
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○木の俣園地条例の制定 　木の俣園地の保全とオーバーツーリズム対策のため、禁止行為及び制限行為を定めるとともに、来訪者に木の俣園地の管理費用の一部を負担してもらう受益者負担の考え方を導入し、駐車場の有料化を行った。 ○「責任ある観光」の政策の一つとして、入湯税を引き上げて観光客に費用を負担いただき、宿泊施設勤務者向けPCR検査費用とした。 【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○GSTCトレーニングプログラム研修に参加し、サステナブルツーリズムに関する知見を深めることができ、実務においてもこれを強く意識するきっかけとなった。 ○リサイクル100％の再生紙を活用した紙袋を作成し、塩原温泉街での普及に努めた。 【事業者：黒磯アウトドア協議会】 ○木の俣園地周辺のゴミ拾いを行い、環境保全に努めている。													
多様なツーリズム開発と実施に向けた国の補助制度の活用	多様なツーリズムの開発と実施に向けた積極的な補助制度の活用を推進する。	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○				
		➡												
➢令和3年度の取組実績	【観光局】【事業者：黒磯観光タクシー】 ○既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業 　市内の2つの道の駅（明治の森黒磯・湯の香しおばら）と那須町の道の駅（友愛の森）の3箇所を結んで、周遊性に関する実証事業を実施した。 【観光局】 ○ワーケーションモニターツアーや無料公衆Wi-Fi整備において観光庁の補助金を活用した。													
市民向け地域の魅力を満喫するための観光活動の支援	市民が個人の心身の回復、健康増進、気分転換だけでなく地域の人々との絆づくりに寄与する交流の機会創出を支援する。	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○				●
		➡												
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○リフレッシュ宿泊キャンペーン 　市民を対象とした市内宿泊施設対象キャッシュバック・キャンペーンを実施することで、市内宿泊施設の誘客促進とともに、市民のストレス軽減を図った。 【観光局】 ○ワーケーションモニターツアーにおいて、地域人材との交流の場を創出し、協働による地域課題解決に努めた。													

施策2　訪日外国人旅行者を対象とした施策の推進

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
温泉地での受入環境整備	無料公衆無線LAN環境キャッシュレス決済環境の整備を行う。								○	○	○			
➢令和3年度の取組実績	【観光局】 ○板室温泉街における無料公衆Wi-Fi環境を強化し、面的な整備完了を達成することができた。 【事業者：JR東日本】 ○那須塩原駅前広場でのイベントを行う際に、電子チケットで精算してもらうエキトマチケットを導入して参加者の利便性が向上した。 【事業者：ハンターマウンテン塩原】 ○スマホで事前に決済を済ませてリフト券が取れる無人券売機を随時導入している。													
多言語化対応観光アプリの活用及び利用促進	訪日外国人観光客の滞在中の観光活動を支援するアプリの活用及び利用を促進する。								○	○	○			
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○ココシルを活用した情報発信に努めた。 【観光局】 ○外国語版SNSアカウントを活用した情報発信に努めるとともに、投稿の結果を分析し、より多くのフォロワー獲得に努めた。													
トイレの洋式化・看板の多言語化	訪日外国人観光客の不便さを解消するためのハード環境整備（特に、トイレや看板の多言語化）を行う。								○		○			
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○黒磯地区の公衆トイレの改修（洋式化）を行った。 ①グリーングリーン、②遊学センター、③深山園地、④上の原園地、⑤乙女の滝、⑥板室園地、⑦板室市営駐車場、⑧沼ッ原 ○塩原地区の公衆トイレの洋式化を行った。 ①もみじ谷大吊橋、②古町5丁目													

施策3　ターゲットの明確化による効果的な情報発信及び集客イベントの実施

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
デジタルコンテンツ制作とSNSプロモーション	本市の魅力を国内外に発信するためのWEB 動画の制作とターゲットに応じたSNSプロモーションを実施する。								○	○				
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】 ○電子雑誌を活用した観光PR事業 有名タレントを活用した「旅色FO－CAL」電子雑誌、紙冊子、及び動画を制作し、観光PRを行った。 【観光局】 ○外国語版SNSアカウントを活用し、広告出稿を行い、フォロワー獲得に務めた。特に、英語版においてはインドネシアを中心に、東南アジアの国々から広くフォロワーを獲得することができた。													
滞在価値創造型イベント事業の推進	本市ならではのブランド価値創造と宿泊滞在を促すイベント事業を推進していくために、既存イベントの見直しを図るとともに新しい生活様式を取り入れた企画運営の支援を行う。								○	○				●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】 ○インバウンド獲得に向けて「台湾フェスティバル」を開催し、食や文化をテーマにしたトークショーや、市と台湾の名産品の販売など、広くPR活動を行った。													
観光プロモーション	旅行エージェント訪問や旅行博の参加など流通向けの営業活動を行う。								○	○				
➢令和3年度の取組実績	【観光局】 ○コロナ禍により旅行博などの開催がなかったものの、首都圏旅行エージェント訪問など積極的に実施し、本市の多様なコンテンツについて認識してもらうことができた。													
安心・安全な観光地としての情報発信・広報	本市の取り組む観光地における安心・安全対策方針と活動状況を市内外に向けて情報発信する。								○					●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課・新型コロナウイルス感染症対策室】 ○新型コロナウイルス感染症対策関連 本市の「日本一安全な観光地」を目指した取組として、旅館・ホテルの感染症対策を市が認証する「新型コロナウイルス感染症対策取組認証制度」をPRし、観光誘客につなげた。 また、宿泊施設勤務者向けのPCR検査、職域接種等を行い、安心安全な観光地をPRした。													

基本方針3　観光客受入のための社会基盤の整備

⇨ 予定
➡ 実績

施策1 「賑わい」のある空間づくり

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
道の駅の整備	道の駅内の「青木ふるさと物産センター」の建替えにより施設機能の強化を図り観光客等の集客・滞在に取り組む。	⇨	⇨	⇨					○					
➢令和3年度の取組実績	【市：農務畜産課】 ○基本設計の実施 道の駅「明治の森・黒磯」再整備基本方針作成及び青木ふるさと物産センター再整備基本設計を実施した。													
那須塩原駅前空間整備	那須塩原駅周辺まちづくりビジョンに基づき、那須野が原の玄関口となる那須塩原駅周辺の環境整備を行う。	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○					
➢令和3年度の取組実績	【市：那須塩原駅周辺整備室】 ○西口ロータリー外周花壇植栽 ①宇都宮大学との共同研究で、西口ロータリー外周花壇にバラ植栽用プランターを製作した。地元のボランティア団体が植栽して管理している。 ②市地域婦人会連絡協議会が主体となって、西口ロータリー外周花壇にビオラ等の植栽を行い管理している。													
温泉街を中心としたエリアの整備	ブランドコンセプトに基づき、温泉街を中心としたエリアの空間整備を行う。	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○	○	○	●	
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○地域観光協会等が実施する取組（こいのぼり設置、竹灯篭等）をサポートし、誘客促進に努めた。													
空き店舗・空き家の実態調査と活用案の検討	空き店舗、空き地、公共施設などの実態把握（休眠/放置資源の把握）と活用策を検討する。	⇨	⇨						○					●
➢令和3年度の取組実績	【市：都市整備課】 ○空き家等実態調査を実施し、空き家の実態把握を行った。													

施策2 「快適さ」の追求と「不便さ」の解消

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
2次交通関連対策	2次交通対策、那須エリアMaaSを始め回遊できる仕組みの検討（シェアサイクルの配置、わかりやすい交通サービス情報発信の在り方など）と実証事業を行う。								○		○		●	
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【事業者】 ○シェアサイクル実証実験 　シェアサイクル実証事業を黒磯地区で実施した。サイクルポートを黒磯駅西口広場とカフェ「Chus」に設置し、シェアサイクル利用者のデータ分析を行い、2次交通としての可能性や事業採算性、継続性等の検証を行った。 【観光局】【事業者：黒磯観光タクシー】 ○既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業 　市内の2つの道の駅（明治の森黒磯・湯の香しおばら）と那須町の道の駅（友愛の森）の3箇所を結んで、周遊性に関する実証事業を実施した。 【観光局】【事業者】 ○Eバイク（電動アシスト付スポーツ自転車）を観光客に貸し出し、サイクリングを楽しみながら観光地を周遊してもらった。													
観光案内の魅力強化	ターゲット顧客の視点から案内看板の見直し、AR/VRなど新技術導入、観光客にとって魅力的な案内所づくりに取り組む。								○	○				
➢令和3年度の取組実績	【観光局】 ○観光案内所看板の多言語化やJNTO認定外国人観光案内所への登録を推進するなど、充実した観光案内体制の構築に努めた。													

施策4　社会的要請に応じた環境づくり

取　組	取 組 概 要	実 施 行 程							実施／検討主体				区 分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
新しい生活様式に対応した環境整備	ワーケーション、リモートワークを推進する拠点を設定し、WiFiなどのインフラ整備を行う。								○					●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】 ○観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」 　板室地区でワーケーションのモニターツアーを実施し、板室地区の推進状況について確認した。 【観光局】 ○板室温泉街における無料公衆Wi-Fi環境を強化し、面的な整備完了を達成することができた。													

基本方針4　強靭な観光地経営基盤づくり

⇨ 予定
➡ 実績

施策1　多様な関係者の連携

取　組	取 組 概 要	実施行程							実施／検討主体				区　分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
観光事業者の生産性向上の推進	観光事業者の生産性向上の促進を図るため、経営者のスキルアップや意識改革のためのワークショップを実施する。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○	○			
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】 ○観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」によるワーケーションモニターツアーに合わせて、地域事業者とともに地域課題解決に向けたワークショップなどを開催した。 【事業者：JR東日本】 ○業務の効率化 黒磯駅と那須塩原駅の両方の駅に駅員が交代で勤務し、どちらの駅でもサービスが提供できるようにした。 【事業者：ハンターマウンテン塩原】 ○人事交流・雇用の確保 　夏場はりんどう湖・どうぶつ王国、冬はハンターマウンテン・マウントジーンズで働いていただき、地域の雇用を地域で賄う取組を実施している。													
農観商工連携の推進	農業・観光・商業・工業の各産業の連携による地域産業の活性化やブランド力の向上を図る。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○					
➢令和3年度の取組実績	【市：農務畜産課】 ○市とパートナーシップ連携協定を締結している株式会社八芳園とともに、那須塩原ブランド認定品を含めた市内産食材の魅力発信や販路拡大に資する取組を実施した。 【事業者：JR東日本】 ○新幹線に市内の農産品（牛乳、イチゴなど）を載せて首都圏で販売する貨客混載を実施した。													
観光活性化に資する活動団体に対する支援	観光関連団体への補助・助言を行い、育成・支援を行うことで観光事業の活性化を図る。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○					
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○観光局への補助金 　安定した法人運営に向けた支援や観光マスタープランを推進するため、「観光局運営費」及び「観光誘客促進事業費」に関する補助を行った。													
市民参加型観光地域づくり	市民が地域の魅力づくりに参画できる機会や場を創出し、観光に携わる市民を増やすことで観光地域としての愛着度の向上に取り組む。	➡	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	○	○	○	○		
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】【事業者】【市民】 ○観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」によるワーケーションモニターツアーに合わせて実施した地域課題解決ワークショップでは、宿泊事業者のほか多数の業種から参加があり、広い視野で観光地域づくりを考えることができた。 【事業者：JR東日本】 ○社員が学校に出向いて授業を行い、生活を支える鉄道の働きや、鉄道への興味・関心を持ってもらう活動を行った。													

施策2　地域観光消費の拡大と安定的な財源の確保

取　組	取 組 概 要	実施行程							実施／検討主体				区　分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
地産地消推進（地域応援）	観光による消費と地域内経済を循環させるために、地産地消（地域内で生産されたものを地域内で消費すること）を促進させるキャンペーン事業を行う。								○	○	○			
➢令和3年度の取組実績	【市：農務畜産課】 ○「那須塩原市食育・地産地消推進計画」に基づき、市産農産物の取扱小売店の増加や農産物直売所の整備の推進、学校給食における市産農産物の利用の拡大を図った。また、10月を食育月間に設定し、周知、啓発の強化に努めた。 【観光局】【事業者】 ○季節のグルメを取り上げた観光PR動画を制作し、広く周知することで、農畜産物の消費拡大に努めた。													
ふるさと納税の拡充	ふるさと納税ポータルサイトや取扱い返礼品の拡充により寄付額の増加を図る。								○		○			
➢令和3年度の取組実績	【市：企画政策課】【事業者】 ○ポータルサイト及び返礼品の拡充 　3ポータルサイト（さとふる、ふるなび、楽天ふるさと納税）に4ポータルサイト（ふるさとチョイス、ふるさとプレミアム、ANAふるさと納税、三越伊勢丹ふるさと納税）を加え、7ポータルサイトに拡充した。 　また、地域特性を活かした返礼品の開発及びブラッシュアップを行った。													
持続的な観光財源確保策の検討	持続的な観光振興事業を行うために欠かせない財源確保策として、観光客から徴収する受益者負担方策に関する検討を行う。								○				●	●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○木の俣園地条例の制定 　木の俣園地の保全とオーバーツーリズム対策のため、来訪者に木の俣園地の管理費用の一部を負担してもらう受益者負担の考え方を導入し、地域のかけがえのない財産である木の俣園地の自然環境保全に努める。 ○法定外目的税の検討 　「那須塩原市法定外目的税検討委員会」を設置し、持続的な財源確保の手段として法定外目的税の検討に着手した。													
観光財源確保策の試験的運用と導入	観光財源確保策の試験的運用により効果的な運用の在り方を再検討しながら本格導入を目指す。								○				●	●
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】 ○木の俣園地条例の制定 　木の俣園地の保全とオーバーツーリズム対策のため、来訪者に木の俣園地の管理費用の一部を負担してもらう受益者負担の考え方を導入し、駐車場の有料化を行った。 ○「責任ある観光」の政策の一つとして、入湯税を引き上げて観光客に費用を負担いただき、宿泊施設勤務者向けPCR検査費用とした。													

施策3　観光人材の確保と育成

取　組	取 組 概 要	実施行程							実施／検討主体				区　分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
観光ガイド育成	地域資源の魅力を語る観光ガイドの育成を行う。								○	○				
➢令和3年度の取組実績	【市：商工観光課】【観光局】 ○地域人材と新たな登山道を模索するなど、観光ガイドの質向上に努めるとともに新たなコンテンツ開発にも努めた。													
若者の観光関連就業支援	若者が本市で暮らしていくための観光関連就業支援を行う。								○	○				
➢令和3年度の取組実績	【観光局】【事業者】 ○毎年、事業者による新入社員研修時に講義を行うなど若い人材育成に努めている。													

施策4　広域連携の推進

取　組	取 組 概 要	実施行程							実施／検討主体				区　分	
		2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	市	観光局	事業者	市民	重点	新規
那須野が原版DMOの設立	顧客視点を重視した「那須（NASU）」観光エリアの広域観光地域マーケティング及びマネジメント推進体制の確立を目指す。								○	○	○		●	
➢令和3年度の取組実績	【観光局】 ○R4.3月に地域DMO候補法人に登録された。今後、3年を目途に登録法人を目指して更なる活動の充実に取り組んでいく。													